

学科名	放送芸術科
コース名	
授業科目	ワークショップ 4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	講義
時間数	60
単位数	4
担当教員	佐藤正樹
実務経験	有
実務経験職種	ディレクター
授業概要	受講生が、これらの作品と解説をどのように受けとめ、理解しているかを意識しながら、授業を進める。この授業に1年間参加する学生が、様々な映像表現方法の知識を得て、創造力を養い、自ら発信できるようになることを目指す。
到達目標	TV、パソコン、携帯には映像があふれ、映像コンテンツは様々な媒体によって放送・配信されている。この科目では、学生それぞれが、制作・美術・照明・カメラ・音声・編集と専攻は異なれど、映像クリエイティブ業界で活躍する人材となる為に、それぞれの「媒体」で、どのような「作品」を視聴者に届けるのか、その映像表現が創造できるようになることを目標にしている。
授業方法	この授業では、映像作品の仕上がるまでの過程や考え方を論じる。実際の映像を鑑賞し、作品制作の現場で使用した企画書や台本等の紙資料を見ながら解説をする場合もある。
成績評価方法	試験・課題 50% 試験と課題 平常点 50% レポート提出と通常授業
履修上の注意	この授業では、理由のない遅刻や欠席・早退は認めない。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業で使用する紙資料は、その授業内で配布するが、全てその授業内で返却すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	各回 必要に応じてレジュメ・資料を配布する。

授業計画	
第 1 回	音楽映像撮影におけるライティングを学び、それがどの様に映像に反映されているか理解する①
第 2 回	音楽映像撮影におけるライティングを学び、それがどの様に映像に反映されているか理解する②
第 3 回	音楽映像撮影におけるライティングを学び、それがどの様に映像に反映されているか理解する③
第 4 回	音楽映像制作における撮影方法① 音楽映像における撮影方法やカメラワークの意味を知る
第 5 回	音楽映像制作における撮影方法② 撮影方法やカメラワークがどのように映像に反映されているか理解する
第 6 回	音楽映像制作における撮影方法③ 特殊撮影の効果とカメラワークを知る
第 7 回	音楽映像制作における撮影方法④ ワークショップ形式で理解する
第 8 回	音楽映像作品の様々な編集方法について学ぶ①
第 9 回	音楽映像作品の様々な編集方法について学ぶ②
第 10 回	音楽映像作品の様々な編集方法について学ぶ③
第 11 回	音楽映像作品の様々なMA方法について学ぶ①
第 12 回	音楽映像作品の様々なMA方法について学ぶ②
第 13 回	番組の企画書、台本等から制作者の意図を汲み取り、どの様に映像に反映されているか理解する①
第 14 回	番組の企画書、台本等から制作者の意図を汲み取り、どの様に映像に反映されているか理解する②
第 15 回	まとめ・復習 総括する